

2015年11月30日発行 NO. 23



●編集発行/みどり病院 広報委員会

心雑音を指摘されたら

検診を受けたり医療機関を受診した際に、「心臓に雑音がありますね」と言われることがあります。心臓に雑音がある?!何かとても嫌な響きですし、心配でもあります。一体『心雑音』とは何なのでしょう?

心雑音 ………

心臓から発生する音には心音と心雑音があります。心臓は一日に約10万回拍動しています。その心臓には4つの部屋(2つの心房と2つの心室)と4つの弁があります(図1)。心臓の拍動に際して心房や心室は拡張と収縮を繰り返し、それに合わせて弁は開いたり閉じたりします。弁や血管を血液が通過する際に発生する

音を『心雑音』と言います。心雑音は、ホースで水を撒くイメージです。指先でホースの先を閉めるとシャーッと水は勢いよく出ます。心雑音は、弁や血管などが狭くなったり逆流すると発生する高速の血流(乱流)がその原因です。実際、心雑音は心臓弁膜症の診断のきっかけになる重要な聴診所見です。

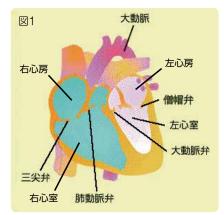


心雑音は高齢者では比較的よく聴取され珍しい所見ではありません。心雑音は多くの場合、弁や血管のわずかな変化を反映しており治療も不要ですが、心臓弁膜症が隠れていることがあります。心臓弁膜症は悪性の病気ではありませんが、見過ごしていると心不全や突然死を来すこともある怖い病気です。特に高齢者では、症状があっても我慢してしまっていて発見が遅れることがあります。心臓弁膜症の評価には、心エコー検査が最適です(図2)。エコーは放射線被曝もなく、高齢者はもちろん、妊婦や赤ちゃんにも安全にできる検査です。心エコー検査で、心雑音の原因は明らかにでき、治療が必要なのか、経過観察でよいのかも的確に判断できます。

心雑音を指摘されても心配は要りません。まずは専門医(循環器内科)を受診しましょう。そして、心雑音が本当にあるのかどうかをちゃんと聴診してもらいましょう。弁膜症が疑われる時は、医師の指示に従って心エコー検査等を受けましょう。心臓弁膜症はきちんと診断すれば怖い病気ではありません。



院長 **室生 卓**





お知らせ

岡田行功医師(心臓血管外科)、室生卓医師(循環器内科) は、岡本クリニック(JR・阪急三宮駅の神戸交通センタービル6F)でも、火曜日9:30~13:00に、隔週交代で診療を行っています。 **岡本クリニック TEL.078-322-2488** みどり病院へのお問い合わせは

電話 078-928-1700代